

沼津港で実施した観光バス運用の実証実験について

沼津土木事務所

1 要旨

平成 29 年 11 月 26 日、沼津土木事務所は沼津市や NPO 法人沼津観光協会等と連携し、沼津港の観光バス受入態勢を強化することを目的とした観光バス運用の実証実験を行いました。

当日は、想定を大きく上回る 43 台のバス利用がありましたが、大きな混乱もなく効率的に受入をすることができ、バスの乗降場と待機場を分離する新たな観光客輸送方法の有効性が確認できました。

2 結果の概要

- 現在のバス駐車場は、NPO 法人沼津観光協会が内港地区に 7 台分の事前予約（+当日対応用 4 台）を受け付けていますが、休日などのピーク時には予約が取りづらく、バス会社からの予約を断っている状況でした。
- 当日は、^{ないこう}内港地区に、観光バス専用乗降場を確保し、降車後は 350m離れた^{がいこう}外港地区に確保した待機場場に誘導しました。バスは乗客が乗るときに改めて内港地区の専用乗降場に向かい、乗車後に速やかに次の目的地に移動しました。
- 新たな輸送方法により、想定を大きく上回る 43 台（事前予約 7 台、当日受付 36 台）の観光バス利用がありましたが、大きな混乱もなく、効率的に受入をすることができました。
- 地元からは、観光バスの利用が今後も増えていくことが想定されるなか、新たな輸送方法により一層の集客が見込めるのではとの多くの期待の声があった一方、バス運転手や添乗員からは、外港から内港までの移動手段がほしい、外港にトイレを用意してほしい等の要望も挙げられたため、次回の実証実験時の参考にしていきます。

3 今後の予定

今回の結果を踏まえ、来年 2 月頃に 2 回目の実証実験を行い、来年 4 月以降に新たな観光客輸送方法に移行することを予定しています。

県と沼津市は、沼津港における地元のバス乗降ルール等の策定を引続き支援していきます。

<実証実験時の運用>



<当日の状況>



観光バス専用乗降場（内港）



観光バス専用待機場（外港）



観光客降車状況（内港）



実証実験の状況（びゅうおより撮影）